

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
体育学部	教授	平川武仁				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
(学部) スポーツ心理学実験実習、スポーツ教育学演習I・II	2019年4月～現在	アクティブ・ラーニングとしての協同学習を取り入れた教育内容を念頭におき、対話型の授業を展開している。授業時間外においては、授業前後・オフィスアワー及びメールにて、学生からの相談を随時受け付け、対応に努めている。授業において配布する資料を事前にWEB上に掲載し、授業のオンデマンドビデオを配信することによって、学生が予習・復習、そして欠席した授業での内容を補完できるようにしている。				
(大学院) スポーツ心理学特論・演習、スポーツ心理学特講、スポーツ心理学実践特論	2019年4月～現在	アクティブ・ラーニングとしての協同学習を取り入れた教育内容を基礎に、博士前期課程ではスポーツ心理学の研究に取り組むための素養を身につけること、博士後期課程では国外での最新の研究動向を用いて討論しながら、スポーツ心理学の研究者育成の課程になること、を念頭におき、教授内容を工夫するよう努めている。				
2 作成した教科書、教材、参考書						
「これから学ぶスポーツ心理学三訂版」	2023年3月～現在	スポーツ心理学テキストとして大修館書店より上梓した(荒木雅信・山本真史編)				
スポーツ心理学実験実習	2019年4月～現在	知覚運動制御・運動学習の簡易実験を通じて、実験の手続き、手計算による結果整理、PCによる情報リテラシー、論文形式によるレポート提出の内容により、卒業研究に取り組む上で重要な素養を育む教材を作成して、授業で活用している。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
りんくうタウン・フェスタにて出前講義	2019年9月	スポーツ心理学、特に視覚情報処理・運動制御を実体験できる青空講義を担当した。				
4 その他教育活動上特記すべき事項						
高等学校での体験授業・出前授業	2020年1月、2022年8月	三田西陵高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業(スポーツ心理学)の講師を務めた(2020年1月)。高田高等学校1年生を対象とした大学講義体験授業(スポーツ心理学)の講師を務めた(2022年8月)。				
オープンキャンパスでの体験授業	2019年8月、2021年8月	本学のオープンキャンパスにおいて、スポーツ心理学に関する体験授業を担当した。				
II 研究活動						
著書(単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書(共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
ダイナミカルシステムズアプローチ/これから学ぶスポーツ心理学三訂版	平川武仁/荒木雅信・山本真史編	46～49	大修館書店	東京	2023年3月	
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
Inverse Proportional Relationship Between Switching-time Length and Fractal-like Structure for Continuous Tracking Movement	Takehito Hirakawa, Hiroo Suzuki, Kazutoshi Gohara, Yuji Yamamoto	International Journal of Bifurcation and Chaos	27(12)	1730040, 1頁～18頁	平成29年12月	
Switching Dynamics Between Two Movement Patterns Varies According to Time Interval	Takehito Hirakawa, Hiroo Suzuki, Motoki Okumura, Kazutoshi Gohara, Yuji Yamamoto	International Journal of Bifurcation and Chaos	26(10)	1630026, 1頁～18頁	平成28年9月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
運動学習研究における変動性の利用に関する歴史的変遷	平川武仁	大阪体育大学紀要	53	1頁～15頁	令和4年3月	
その他(「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
	夏季オリンピックにおける三つの世界モデルによる国際競技力の変化	共 平川武仁、大庭恵一、山田英生	大阪体育大学紀要	53	47頁～63頁	令和4年3月
	COVID-19への感染症予防を踏まえた大学体育実技授業の実践研究	共 平川武仁、大庭恵一、山田英生	鳥羽商船高等専門学校紀要	44	46頁～59頁	令和4年3月

高等教育機関の学生における遠隔授業と面接授業期間のストレスとストレス反応	共	平川武仁、大庭恵一、山田英生	大分工業高等専門学校紀要	58	9頁～15頁	令和3年9月
けん玉技能の習得過程	単	平川武仁	運動学習研究会報告集	28	20頁～23頁	令和3年7月
バスケットボールにおける空中局面での選択変更可能時間領域	共	日比野朋也、平川武仁、山田憲政	中京大学体育研究所紀要	33	65頁～71頁	平成31年3月
3つの運動パターン切替の遷移状態と切替時間長との規則的関係	共	平川武仁、山本裕二	アカデミア人文・自然科学編	16	119頁～139頁	平成30年6月
廉価なウェアラブル・デバイスによる運動学習の可能性	単	平川武仁	運動学習研究会報告集	25	64頁～68頁	平成29年8月
漸増歩行速度条件で保持される競歩の上肢と下肢の協応パターンの安定性	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	13	133頁～147頁	平成29年1月
切替時間長と左右方向への投動作パターンの規則的関係	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	12	105頁～115頁	平成28年6月
ストロークレートの差異によるハンドル牽引力の揺らぎと安定性	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	10	119頁～135頁	平成27年6月
競漕選手による漕周期の長期相関と1/f型揺らぎ	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	9	99頁～114頁	平成27年1月
浮動ローイング・マシンにおける1000mタイムトライアル中のレース経過に伴う協応パターンの変化	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	8	89頁～112頁	平成26年6月
ローイング・マシンにおける1000mタイムトライアル中のハンドル速度パターンと定時的安定性の関係	単	平川武仁	アカデミア人文・自然科学編	7	69頁～85頁	平成26年1月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内（一般演題）	令和4年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会	複雑ネットワークによる夏季オリンピックのリオ・東京大会における男子ハンドボール検証の特徴抽出	順天堂大学	平川武仁、下川真良
研究会	令和4年9月	第30回運動学習研究会	運動学習研究における変動性の利用に関する歴史の変遷	岩手大学	平川武仁
国内（他）	令和3年11月	日本スポーツ心理学会第48回大会	律動的運動における知覚運動制御と学習	日本大学（オンライン開催）	平川武仁、山本耕太、岡野真裕
国内（一般演題）	令和3年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会	国家経済政策の変更による夏季オリンピックにおける国際競技力の変化	筑波大学（オンライン開催）	平川武仁
国内（一般演題）	令和2年11月	日本スポーツ心理学会第47回大会	50km競歩競技におけるペース設計のための汎用的数理モデル	仙台大学（オンライン開催）	平川武仁
国内（一般演題）	令和元年9月	日本体育・スポーツ・健康学会第70回大会	体育学における時間論の展望	慶應大学	平川武仁
研究会	令和元年8月	第28回運動学習研究会	けん玉技能の習得過程	龍谷大学	平川武仁
国際	令和元年7月	International Conference on Perception and Action 2019	Skill acquisition for playing Japanese cup and ball	University of Groningen	Takehito Hirakawa, Hiroo Suzuki, Yuji Yamamoto
国内（一般演題）	平成30年10月	日本スポーツ心理学会第45回大会	バスケットボールの空中局面における選択変更可能域に関する検討	名古屋国際会議場	日比野朋也、平川武仁、山田憲政
国内（一般演題）	平成30年8月	日本体育学会第69回大会	肘屈伸運動のオン・オフセットによる一致タイミング制御での1/f型揺らぎ	徳島大学	平川武仁
国際	平成30年6月	European workshop of ecological psychology	Regular relationship between switching-time lengths and transition states for switching three movement patterns	Mantauban, France	Takehito Hirakawa, Yuji Yamamoto
研究会	平成29年9月	第25回運動学習研究会	廉価なウェアラブル・デバイスによる運動学習の可能性	大阪体育大学	平川武仁
国内（一般演題）	平成29年9月	日本体育学会第68回大会	連続・離散力学系におけるポアンカレ断面における運動パターン切替の遷移状態と切替時間長との規則的関係	静岡大学	平川武仁、山本裕二
国内（一般演題）	平成28年11月	日本スポーツ心理学会第43回大会	示指のオン・オフセットによる一致タイミング制御での1/f型揺らぎ	北星学園大学	平川武仁
国内（一般演題）	平成28年8月	日本体育学会第67回大会	漸増歩行速度条件で保持される競歩の上肢と大腿の協応パターンの安定性	大阪体育大学	平川武仁
国際	平成28年3月	Integrated Understanding for Emergent Property of Cooperation and Competition Dynamics	Fluctuation of Continuous Pursuit Tracking Movement Excited by Different Switching Time Length	東京大学	Takehito Hirakawa
国内（一般演題）	平成27年8月	日本体育学会第66回大会	競漕選手による漕周期の長期相関と1/f型揺らぎ	国士舘大学	平川武仁
研究会	平成27年8月	第23回運動学習研究会	ストロークレートの差異によるハンドル牽引力の安定性	名古屋大学	平川武仁
国際	平成26年8月	The 7th Asian-South Pacific Association of Sport Psychology International Congress	Change of Coordination Patterns during a 1000-m Time Trial on a Floating Rowing Machine	Tokyo	Takehito Hirakawa

科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
科学研究費	基盤研究（C）	視・聴覚情報とのクロス・モダリティによる運動産出における協応動態	代表	平成30-令和5年度	1,040,000	
科学研究費	基盤研究（C）	オン・オフタイミング制御における運動頻度とノイズの違いによる時間算出	代表	平成27-29年度	1,300,000	
科学研究費	若手研究（B）	身体運動ダイナミクスにおける規則性・法則性の解明	代表	平成24-26年度	1,950,000	
科学研究費	基盤研究（A）	競創ダイナミクスの統合的理解	分担	平成24-27年度	44,330,000	
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
令和3年12月～現在	日本認知科学会					
令和元年12月～現在	大阪体育学会					
令和元年5月～現在	電子情報通信学会					
平成30年4月～現在	計測自動制御学会					
平成12年12月～現在	日本スポーツ心理学会					
平成10年4月～現在	日本体育学会（現：日本体育・スポーツ・健康学会）					
社会的活動						
令和4年10月～現在	日本スポーツ心理学会庶務幹事					
令和元年8月～現在	運動学習研究会代表					
平成28年11月～令和4年9月	日本スポーツ心理学会学会理事					
平成25年11月～平成28年10月	日本スポーツ心理学会庶務幹事					
平成26年1月～平成27年12月	東海体育学会理事					
平成20年4月～平成22年3月	東海学生陸上競技連盟評議員					
平成19年4月～平成19年12月	東海体育学会庶務幹事					
Ⅳ 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
令和5年4月～現在	（全学）研究推進委員会、社会貢献センター運営審議会、（学部）自己点検・評価委員会、予算委員会、入試委員会、研究委員会（委員長）、（大学院）入試委員会（委員長）、（教育研究組織）史哲行動系研究系長					
令和3年4月～令和5年3月	（全学）学生募集検討委員会、広報委員会、（学部）入試委員会、研究委員会紀要部会（部会長）、学科連絡会議、史哲行動系長、コース主任、（大学院）入試委員会					
令和2年5月～令和3年3月	（学部）予算委員会					
平成31年4月～令和3年3月	（学部）入試委員会、（大学院）学生委員会					
特別プロジェクト活動						
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名	体育実技研究部	2. 役職	監督	3. 部員数	約20人	
4. 現場指導の頻度	③ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：	1 回	延べ日数：	3 日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	③ ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所		
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）						
開催期間	大会名		成 績	場 所		
Ⅵ 賞罰（職務に関する賞罰）						
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考	